

広報

しょうばら

5

2007/May

No.26

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

100万本の 素敵なシンフォニー

(国営備北丘陵公園「春まつり」)

今月の主な内容

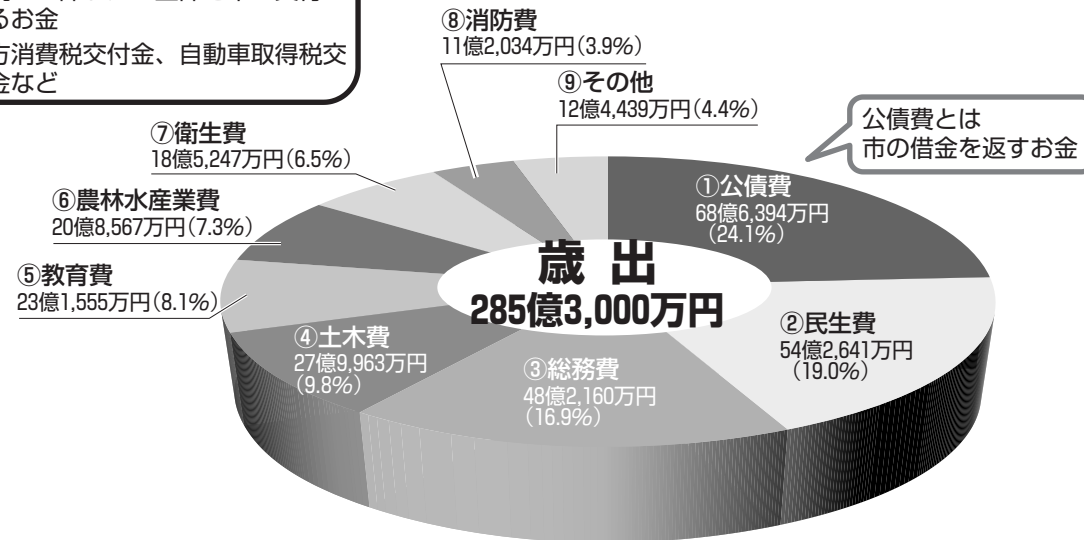
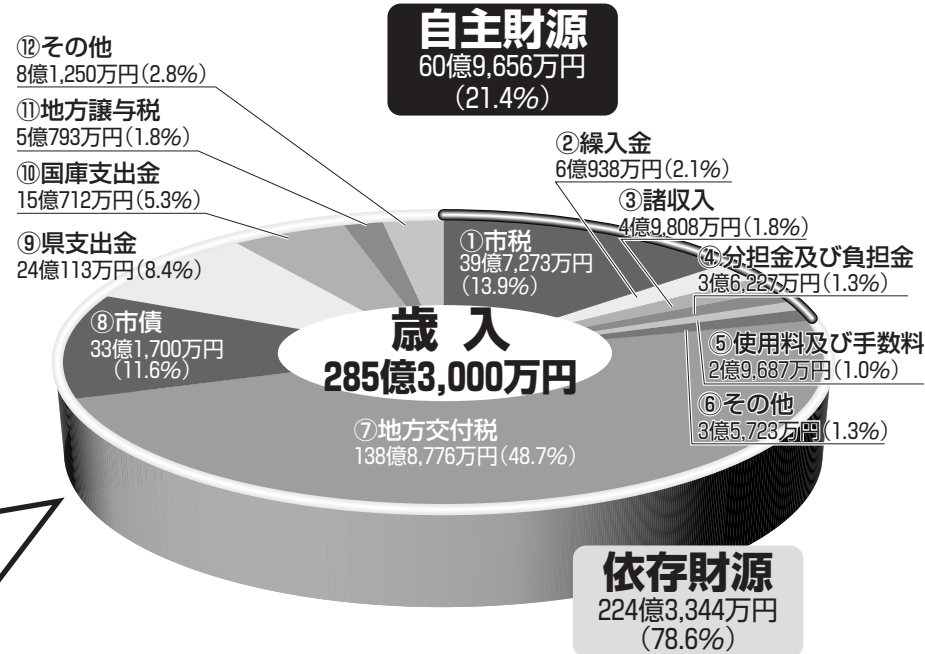
- 平成19年度当初予算の概要…………… 2
- 特集 幸せ倍増計画…………… 8
- 庄原市の行政組織…………… 14
- ご利用ください！出前トーク…………… 16
- 本庁舎別館の各課が仮庁舎へ移転…………… 18
- 子育て家庭の交流の場が広がります…19
- 5月は消費者月間…………… 20
- 障害者相談支援員を設置…………… 21
- カメラレポート…………… 22
- クローズアップ…………… 26
- 健康広場「バランスのよい食事」…………… 28
- お知らせ…………… 29
- 発見！しょうばら…………… 34

平成19年度庄原市当初予算の概要

一般会計

用語解説

- ①市民の皆さんが納める税金
- ②基金などから繰り入れるお金
- ③雑入、広告料収入など
- ④事業をするために、事業の受益を受ける方から、一部を負担していただくお金
- ⑤施設の使用料や戸籍の発行などの手数料
- ⑥財産の貸付け収入など
- ⑦全ての市町村が等しく行政サービスを提供できるように国が交付するお金
- ⑧市が資金調達のために借り入れるお金
- ⑨特定の事業に対して交付される県からの補助金など
- ⑩特定の事業に対して交付される国からの補助金など
- ⑪国税の一部または全部を市に交付されるお金
- ⑫地方消費税交付金、自動車取得税交付金など



平成19年度 庄原市全会計予算総括表

※金額は万円未満を四捨五入しているの
で、内訳の合計は必ずしも一致しません。

会計名	予算額	対前年増減率(%)	会計名	予算額	対前年増減率(%)
一般会計	285億3,000万円	▲5.7	特別会計		
特別会計	196億5,329万円	▲1.6	浄化槽整備事業特別会計	3億3,102万円	81.5
住宅資金特別会計	2,255万円	▲12.7	簡易水道事業特別会計	3億4,279万円	▲1.3
歯科診療所特別会計	2,442万円	▲7.9	工業団地造成事業特別会計	4億402万円	614.8
ダム対策特別会計	廃止	皆減	宅地造成事業特別会計	1,227万円	▲15.6
国民健康保険特別会計	45億2,504万円	6.2	水道事業会計		
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,173万円	▲12.3	収益的支出	7億668万円	2.5
老人保健特別会計	69億8,924万円	0.4	資本的支出	7億6,174万円	▲14.2
介護保険特別会計	42億2,567万円	▲1.2	小計	14億6,842万円	▲6.9
介護サービス事業特別会計	1億235万円	6.3	病院事業会計		
公共下水道事業特別会計	14億7,435万円	▲18.0	収益的支出	16億1,946万円	▲3.4
農業集落排水事業特別会計	11億785万円	▲27.1	資本的支出	1億1,250万円	88.1
			小計	17億3,196万円	▲0.2
			比和財産区特別会計	211万円	▲44.6
			合計	513億8,578万円	▲4.0

“げんき”と“やすらぎ”の
さとやま文化都市をめざして



—平成19年度庄原市当初予算の概要—

財政課財政係 ☎0824-73-1129

大変厳しい財政状況の中、平成19年度を「財政健全化に向けた正念場」と認識し、計画的な事業推進、政策課題への対応を基本に予算を編成しました。

具体的には、産業・定住分野で「みどりの環(わ)」経済戦略ビジョンとして重点事業を実施するほか、福祉・教育分野における事業の重点化、実施計画に沿った普通建設事業の予算計上などに努めました。

なお、一般会計の予算規模は、285億3,000万円で、平成18年度の当初予算を5.7%下回る緊縮型の内容になっています。

重点事業

「みどりの環(わ)」経済戦略ビジョンとして、下記の事業を連携して実施します。

事業名・事業費	内容
待っとるよ！ 庄原定住プロジェクト事業 2,639万円	起業支援、就農支援、庄原応援団結成(都市で活躍されている庄原出身者に、庄原市のPR・情報発信をお願いします。)
新産業創出事業 8,392万円	バイオマスエタノール実証実験施設整備、バイオマスボイラー導入、公共施設へのペレットストーブ導入など「バイオマスタウン構想」の実現を目指します。
農業自立振興プロジェクト事業 1,757万円	営農指導員設置、儲ける農業モデルづくり、かんたん就農塾など、儲ける喜びのある農業振興により、「農業による定住社会の復活」を目指します。

財政健全化の取り組み

「持続可能な財政運営」を行うため、次のような収入の確保、事業の見直しを行いました。

事業名・事業費	内容
市税の確保	専門家の支援(職員の派遣など)を受け、滞納の徴収を強化します。
広告料収入の確保	封筒、広報紙、公共施設の看板などに広告を掲載し、広告料収入を確保します。
補助金等検討委員会の設置	検討委員会を設置し、補助事業ごとに必要性・妥当性・効果などを再検討し、補助基準額などの見直しを行います。
持続可能な財政運営プランに基づく予算編成	起債(借金)の抑制、施設の管理形態および事務事業の見直しなど、経常経費を抑制します。詳しくはホームページをご覧ください。

2 業・交流 さとやま資源の活用で地域が輝くまち

あらゆる資源と地域力の活用による農林業の再興、中国山地の自然を背景に存在する個性的・魅力的な資源を活かした観光産業の推進、企業誘致と中小企業の支援や賑わい創出による商工業の活性化などに取り組みます。



やまびこ祭り

主な事業

農地・水・環境保全向上対策事業	新規	410万円	農地の良好な保全を図る地域共同の取り組みに対して、支援を行います。
森林整備地域活動支援交付金事業	継続	5,661万円	森林所有者による作業道管理などの地域活動を支援します。
中小企業振興対策事業	継続	1億2,398万円	中小企業振興補助金、中小企業融資預託金などにより、中小企業を支援します。
観光交流事業	継続	3,511万円	観光産業の推進のため、市内各地域の交流イベント、観光資源を活用した各種事業を行います。
県立広島大学研究開発助成事業	継続	1,279万円	県立広島大学の農林業振興や環境保全などの研究開発に助成し、その成果を活かして事業化を図ります。

3 境・基盤・定 自然との共生で暮らしが輝くまち



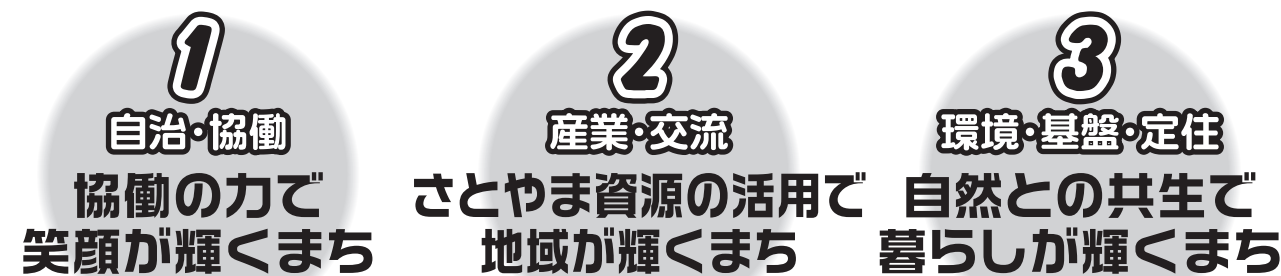
本庁舎前の東本町宮の下線を整備します

自然環境の保全、環境型社会の形成、情報化の推進、都市機能の充実に配慮しながら、誰もが「しあわせ」を感じ、「住み良いまち」と思える快適で便利な生活空間づくりに取り組みます。

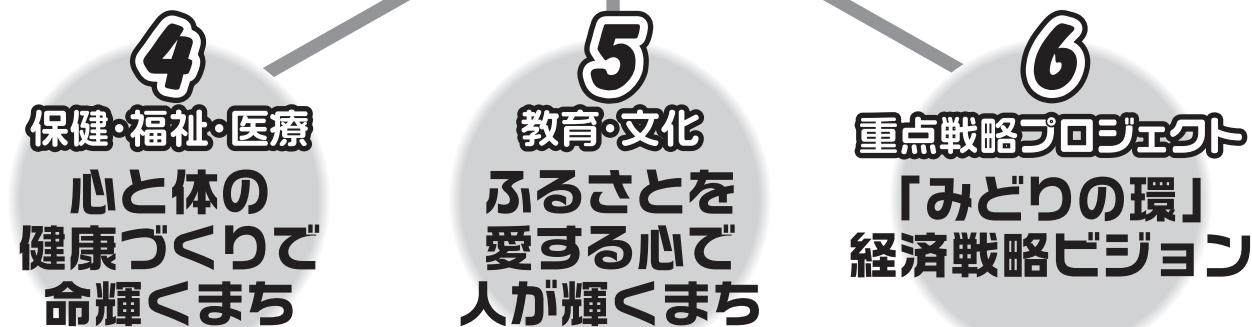
また、広大な市域において、同じ手法・形態による生活基盤整備は困難なことから、地域の立地条件を踏まえた対応を図り、一体的な地域発展を進めます。

主な事業

ごみ処理施設・リサイクル施設の充実	継続	4億6,037万円	リサイクルプラザ、東城RDF化施設などの管理運営を行います。
道路橋梁整備事業	継続	11億2,687万円	快適で便利な生活空間づくりに向け、道路の新設、改良などを行います。
まちづくり交付金事業	新規	2億1,075万円	国の交付金を活用し、東本町宮の下線整備、紅梅通り・まちなか広場の検討など、中心市街地の整備を行います。
生活交通路線確保事業	継続	2億2,124万円	生活交通を確保するため、路線バス維持の補助、各地域の市営バス・乗合タクシー、市街地循環バス、地域生活バスの運行などを行います。
上下水道の整備	継続	19億4,441万円	上水道の整備、飲料水の確保、下水道施設、浄化槽整備などの事業を行います。
高速バスを活用した定住対策事業	継続	216万円	バス事業者の協力を得て、早朝の広島直往便を増便するとともに、利用者負担を軽減するため、助成を行います。



“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市



“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市 ～人と地域が輝く、美しい日本のふるさと～の実現に向け、5つの基本政策と重点戦略プロジェクトに取り組みます。

1 自治・協働 協働の力で笑顔が輝くまち

新しいまちづくりや地域づくり、持続的な自治体運営に向けては、これまでに育まれた「市民・地域が支え合う」という意識の高揚と「自らの地域は、自らが守る」という意欲を促進し、協働のまちづくりを進めます。

また、まちづくりの拠点として、本庁舎の整備を進めます。



自治振興区による除雪活動

主な事業

自治振興区振興交付金	継続	1億5,411万円	活力ある地域づくりを自主的、総合的に推進する自治振興区の運営を支援します。
自治振興区活動促進補助金	拡充	3,500万円	地域の特性を活かし、活性化を図る自治振興区の主体的な活動を支援します。
人権啓発事業	継続	433万円	人権尊重の理念に関する正しい理解と認識を深めるための事業を実施します。
本庁舎の整備	継続	11億4,634万円	別館庁舎の解体、本庁舎建築に着手します。

6
重点戦略
プロジェクト

「みどりの環」経済戦略ビジョン

平成18年度に策定したビジョンを基に、本年度は次の事業に取り組みます。

農業自立振興…

直販市場の開拓、ニンニクの試験栽培、地域農産物のブランド化など、儲ける視点による農産物の販売促進と生産振興に取り組みます。



農林振興公社が開発した新商品

主な事業

営農指導員設置事業	拡充	217万円	少量多品目栽培支援と新規就農者の掘り起こしを行うため、営農指導員を設置します。
かんたん就農塾事業	新規	10万円	県立農業技術大学校と連携し、新規就農者が就農促進研修を受講する場合に助成します。
農業自立支援プログラム実践業務委託事業	新規	1,981万円	(株)庄原市農林振興公社へ事業委託し、農業自立振興プロジェクトの目指す「農業による定住社会の復活」に向けた事業を具体化します。

木質バイオマス活用…

新産業創出に向けた木質バイオマスエネルギーの普及・啓発を図ります。

主な事業

バイオエタノール量産化実証実験棟整備	新規	1,850万円	バイオエタノール量産化に向けた実証実験棟を整備し、この取り組みを支援します。
バイオマス利活用交付金事業	新規	4,533万円	木質ボイラー整備など、木質バイオマスの利活用に向けた事業展開へ助成します。

観光振興・定住促進…

観光振興へ結びつくコミュニティビジネスの支援や自治振興区による定住者を受け入れる活動などに支援します。

主な事業

庄原応援団結成準備	新規	35万円	定住促進・観光振興を図るため、市出身者を中心に庄原応援団の組織化に向けた情報収集などを行うとともに、著名人に「ふるさと大使」として協力をいただき、市のPRに努めます。
庄原市起業支援事業	新規	600万円	地域資源の活用、地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスを起業する個人、グループなどへ助成します。
自治振興区活動促進補助金	新規	800万円	Uターン促進対象者の把握や田舎だよりの発送など、自治振興区の主体的な定住促進活動を支援します。

4
健・福祉・医

心と体の健康づくりで命輝くまち

保健・福祉・医療分野の充実と連携、市民の理解と協力によって、やすらぎを実感し、安心して暮らすことのできるふるさとの形成に努めます。



特定高齢者介護予防事業

主な事業

子育て支援事業	継続	5,897万円	出産祝い金の交付など、子育て支援を図ります。
高齢者等生活支援事業	継続	3,788万円	ひとり暮らし高齢者巡回相談事業、デイホーム事業など、高齢者が安心して暮らせるための支援を行います。
障害者自立支援事業	継続	4億3,254万円	障害者の自己決定を尊重し、その能力・適性に応じ、自立した日常生活・社会生活が送られるよう支援します。
生活保護就労支援員の設置	新規	46万円	生活保護世帯に就労相談などの支援を行い、自立の助長を促進します。
保健事業の充実	継続	9,401万円	老人保健事業、2歳児歯科検診など、保健事業の充実に努めます。
重度心身障害者医療費助成事業	継続	1億8,446万円	重度心身障害者の医療費について、自己負担額の一部を助成します。

5
育・文

ふるさとを愛する心で人が輝くまち



共同調理場を整備する高野小学校

地域の宝である子どもたちが、この地に生まれ、育つことに誇りを持ち、たくましく成長できるように、家庭・学校・地域が連携し、良好な教育環境の構築に努めます。

また、豊かな自然と生活が育んできた里山文化の保存と継承、自主的な学ぶ意欲を満たす環境づくりを推進します。

主な事業

給食調理場の整備	継続	3億5,005万円	西城・高野学校給食共同調理場の整備を行います。
公民館事業	継続	9,091万円	自主運営公民館活動、地域教育力再生事業を支援します。
文化財保護と活用	継続	1,472万円	文化財の保護、国重要文化財の保存、埋蔵文化財の調査を行います。
体育施設整備	継続	5,185万円	高野スポーツ広場野外ステージ・トイレ改修など、体育施設の整備を行います。



- 1、農家の暮らしを活用した起業支援
○起業支援補助金
地域資源を活用したコミュニティビジネスの起業を支援します。
- 自治振興区活動促進補助金
自治振興区が実施するスモールビジネスを支援します。
- 2、まちなかの空き店舗を活用した起業支援
○中心市街地活性化補助金

主な施策

■農家レストランなど市民の起業を支援

起業している人、これから起業しようとする人、さまざまな施策で、市民の「儲ける」(スモールビジネス)を支援します。

- 1、情報発信交流事業
ホームページなど情報発信の充実を図ります。
- 2、市民活動BOX事業
個人や団体が行う観光や地域づくりイベントの情報発信を支援します。
- 3、庄原の食を楽しむ起業に学ぶ会
「食」を楽しむ会を開催し、すでに起業している農家レストランなどの実例に学び、新たな起業を促進します。

- 1、「庄原市観光振興公社」(仮称)設立へむけての調査検討
- 2、観光の魅力づくりの再構築
まちなか再生、農家民宿・農業体験、山を楽しむ、川を楽しむ、花を楽しむ、企業観光など、農村の暮らしを楽しむ魅力づくりに取り組みます。

■儲ける観光のプロデュース

市民の「儲ける」仕組みを、さらにパワーアップさせます。

- 1、平成22年を目標に、市民のさまざまな「儲ける観光」の舞台として、「2010庄原さとやま体験博」(仮称)の開催を目指します。
- 2、軽トラ産直市の仕組みづくり

- 1、平成22年を目標に、市民のさまざまな「儲ける観光」の舞台として、「2010庄原さとやま体験博」(仮称)の開催を指します。
- 2、軽トラ産直市の仕組みづくり

2010庄原さとやま体験博(仮称)のイメージ図



四季の美しさの中で、繰り返される「里山の暮らし・農業のある暮らし」にひきつけられる人々が年々増えています。
庄原市では、農村・農林業資源を背骨にした域内経済循環を作り出し、安定した家計を実現し、住んでよし、訪ねてよしの地域社会を目指す「みどりの環」経済戦略ビジョン—幸せ倍増計画—を策定しました。その基本構想を実現するための具体的な計画として、農業自立振興プロジェクト、木質バイオマス活用プロジェクト、観光振興・定住促進プロジェクトが動き始めました。
今月は、観光振興・定住促進プロジェクトの概要についてお知らせします。

21億円への挑戦

観光入込客一人が、プラス1,000円を消費する仕組みをつくられば、庄原市の観光に新しい、21億46百万円のマーケットが誕生することになります。



【平成16年の観光入込客 214万6千人×1,000円=21億46百万円】

【目標】「市民が儲ける21億円の新たなマーケット」への挑戦

平成17年=2,228円

↓

平成21年=3,228円

観光客1人当たり消費額1,000円UP

■市民が儲ける観光をめざす「感動!観光振興プロジェクト」

観光は裾野の広い総合産業であるといわれています。観光客の行動は、旅行業、宿泊施設、交通機関だけでなく、農業、飲食業、特産品製造など、多岐にわたり地域経済全体を押し上げるとともに、さまざまな雇を生み出します。

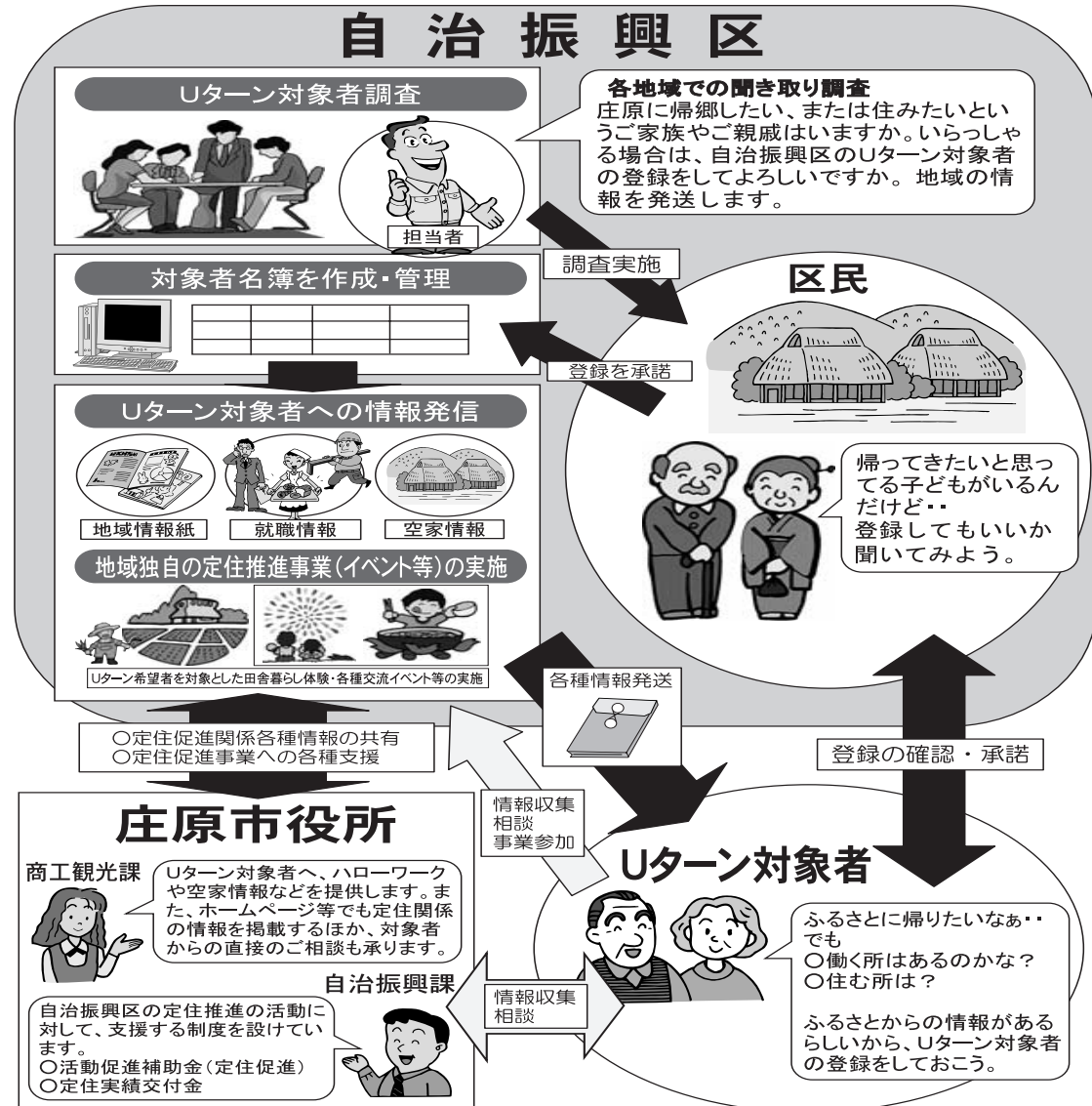
「感動!観光振興プロジェクト」では、本市の強みである農村文化・農林業資源を核にした観光による経済循環の仕組みを作り、観光のさまざまな場面で、市民が主体的に関わり、儲けられる仕組みを創り出します。

「帰郷への取り組み」地域から始めませんか!!

「庄原に帰りたい」「庄原に住みたい」と思っているご家族やご親戚に対して、地域から呼びかけを行っていきませんか。

自治振興区が行う定住促進の取り組みに対しては、補助金を交付するとともにさまざまな情報を提供します。

■自治振興区による定住促進への取り組み例



■自治振興区活動促進補助金交付事業 (定住促進事業)

自治振興区が、地域出身者などを対象に取り組み「定住促進活動」に対して、補助金を交付します。

詳しくは12ページをご覧ください。

■定住実績交付金

(平成20年度実施予定)

地域が独自に取り組む「定住促進活動」の成果に応じて、一定額の交付金の交付を予定しています。



今櫛会(西城町大屋)は、広島市在住の出身者の会「広島今櫛会」と交流し、情報交換や地元特産品を販売するなど、出身者と新たなネットワークづくりに取り組んでいます。



定住の総合窓口となる定住推進係の3人

■人口減少に歯止めをかける「待つとるよ!庄原定住プロジェクト」

本市の人口は、高度経済成長期における若年層の流出以後、減少傾向が続いています。人口の減少は、地域活力の低下に直接的な影響を及ぼすことから、定住施策を積極的に推進し、一定人口を維持・確保することが強く求められています。

そのため、「待つとるよ!庄原定住プロジェクト」では、定住促進に向けて、さまざまな施策や支援を行います。

■定住推進の総合窓口を設置

商工観光課に定住推進係を設置し、空家情報をはじめ帰郷や定住に必要な情報の収集、定住希望者からの問い合わせへの対応、ホームページでの情報発信などを行います。

■情報発信・交流

- 1、ホームページの充実
Uターン希望者にとって必要な情報や、庄原市の魅力を情報発信します。
- 2、広報しようばらの提供
広報しようばらを出身者へ提供します。
- 3、庄原応援団結成準備
庄原市出身者やゆかりの人を対象に庄原応援団結成準備や庄原ふるさと大使を任命します。
- 4、空家活用研究会
空家を、定住希望者に素早く着実に提供できる仕組みを検討します。
- 5、倉庫ビジネス事業化研究会
空工場・空事務所などの有効活用を図る仕組みを検討します。

■定住促進のための支援策(起業・住居)

- 1、起業支援補助事業
地域資源活用や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスの起業に対して助成します。
- 2、就農支援事業
就農のため、県立農業技術大学が主催する就農研修(入門コース)を受講した場合、受講料の1/2を補助します。
- 3、空家活用改修費助成事業
空家を新たに取得・改修し、定住しようとする人を対象に、改修費の一部を助成します。
- 4、広島市への通勤通学定期乗車券助成事業
庄原市内から広島市内へ通勤、通学される方を対象に、バス定期乗車券購入費用の一部を助成します。

有附幸男さん(新庄町)

定年を迎え、2001年に大阪からUターン。アルバイトをしながら、家庭菜園やドライブなど第2の人生を楽しむ。現在は、新庄西自治会の会長も務め「定住希望者は誰に何を聞いていいかわからない。市役所の定住窓口が一本化され、多くの人が喜ぶのではないかと。また、Uターン経験者として、自治会からも情報発信をしていきたい」と話す。



あなたの夢を応援します！



今年度新たに創設した補助事業などで、市民の皆さんの活動を応援し、「庄原市の元氣」につなげていきます。

■起業支援補助事業

地域資源活用や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスの起業

を行う人に、起業に必要な経費の一部を予算の範囲内で助成します。

対象者

コミュニティビジネスを起業する市民

補助額

補助対象経費の3/5で、300万円を限度。

事業期間

平成19年度から平成23年度（5年間）の事業とする。募集締切（第1次）7月31日

対象事業の例

活動分野	具 体 例
観光・交流	観光ガイド、国際交流、交流・体験事業運営、農家民泊、農家レストラン
芸術文化	講座・教室等の開設、体験学習、絵画等の製作・販売
まちづくり	宅配、空き店舗活用、交流スペースの貸出し
ものづくり	食品加工、伝統工芸、特産品の開発・販売
農 業	市民農園の開設、農産物の販売
就 労 支 援	障害者・女性・高齢者就労支援、在宅勤務支援、パソコン教室
環 境	リサイクル、環境美化、リサイクルショップ、廃油石鹸の製造
情 報	情報誌発行、通信事業、ネット販売事業
子育て支援	保育、子どもの一時預かり、ベビーシッター、フリースクール、野外教室
福 祉	各種介護、給食、外出移送、住宅改造、買物代行、出張理容、福祉施設運営
そ の 他	倉庫業

問い合わせ

商工観光課定住推進係 ☎0824-73-1178

■空家活用改修費助成事業

空家を新たに取得・改修し、庄原市に定住しようとする人に対し、空家改修費の一部を予算の範囲内で助成します。

対象者

U・J・Iターンの方が新たに空家を取得し、庄原市に定住する場合の改修費で、つぎの要件を満たす人。

要件

- ①平成19年4月1日以降に転入した方。（転入前に市外へ1年以上居住されていた方）
- ②新たに空家を取得し、所有権を登記した方。
- ③定住を前提としてその家に居住する方。
- ④2親等以内の親族からの空家取得でないこと。

補助額

補助対象経費の1/2で、100万円を限度。

事業期間

平成19年度から平成21年度（3年間）の事業とします。

募集締切（第1次）7月31日

問い合わせ 商工観光課定住推進係

☎0824-73-1178

■自治振興区活動促進補助金交付事業（定住促進事業）

自治振興区が、地域出身者などを対象に取り組み「定住促進活動」に対して、補助金を交付します。

事業例

- ・自治振興区内に定住促進窓口を設置
- ・地域内のUターン対象者の名簿作成と管理
- ・対象者に対する各種情報発信
- ・定住促進を目的とした「地域情報紙」の作成
- ・対象者への定住促進を目的に、地域が企画した事業（交流体験イベントや相談会など）

補助額

補助率 対象事業費の4/5以内

補助限度額 1事業につき100万円

問い合わせ 自治振興課

☎0824-73-11209

■中心市街地活性化補助事業

まちなか（中心市街地）の風情や街並みを活かし、空き店舗を活用した事業や商店街イベントなどに補助金を交付します。

対象地区

庄原地区と東城地区の中心市街地

対象者

商店街または商店街に類する団体と個人

事業内容と補助額

●空き店舗等活用事業（コミュニティホール・ギャラリーなどの開設）

・改装費の補助

補助対象経費の1/3で、240万円を限度

・借上料の補助

補助対象経費の1/2で、月額4万円を限度

（中心市街地のうち指定区域は2年間分・その他は1年間分）

●空き店舗等を活用した創業支援事業（小売業、一般飲食店など）

・借上料の補助

補助対象経費の1/2で、月額4万円を限度

（中心市街地のうち指定区域は2年間分・その他は1年間分）

●まちなかイベント事業

補助対象経費の1/2で、40万円を限度

問い合わせ 商工観光課商工観光係

☎0824-73-11179

観光・定住に関するお問い合わせは、

商工観光課 ☎0824-73-11178



岡野商工観光課長

―感動！観光振興プロジェクトについて

いまある観光資源や観光イベントを、さらに魅力的なものにし、庄原市全体として点から線へ広げたいと思います。従来からの国営備北丘陵公園・かんぼの郷庄原・帝釈峡などの観光地に加え、さらに「農村の暮らし・農業のある暮らし」をサービス化することによって儲ける機会の裾野を広げ、市民の皆さんや地域の「儲ける観光」の仕組みを創りたいと考えています。

―待つとるよ！庄原定住プロジェクトについて

特に、自治振興区の皆さんと連携をさせていただきながら、自治振興区を中心とした顔の見える定住促進活動が進められればと思います。定住活動が地域から市民運動として広がることを期待しています。

―「2010やま体験博」にむかひ

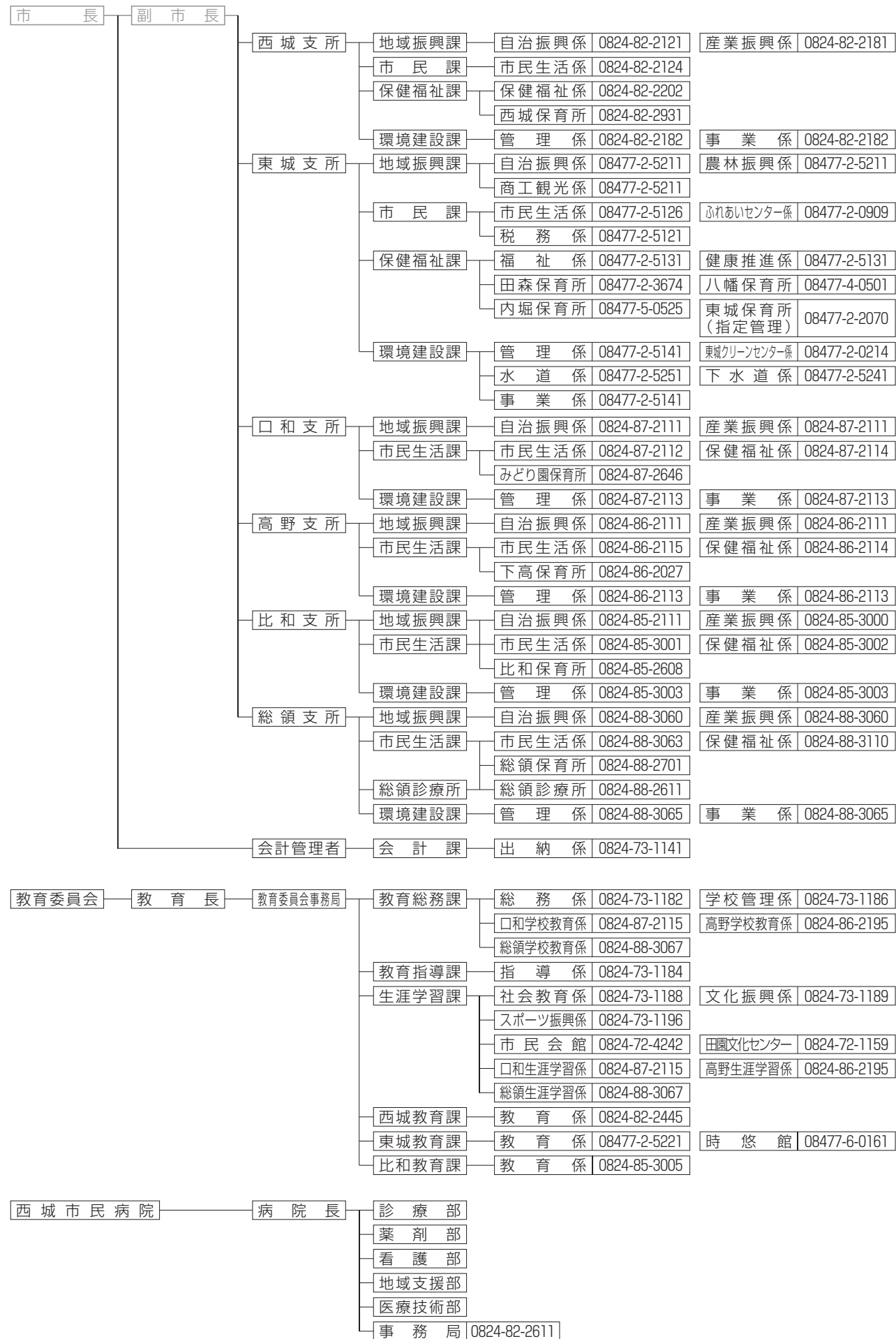
感動！観光振興プロジェクトでは、2010年に「さつやま体験博」を開催したいと考えています。昨年の秋を振り返ると毎週土曜・日曜日は庄原市のどこ

かでイベントが開催されてきました。すごいですね。これが庄原市の強みであり、例えば秋であれば、広島県の実りの秋と言えば庄原のシーズンと言われるようにしたいと考えています。市民の皆さんや地域に儲ける機会を創り、観光客の皆さんが喜んで消費してもらえるような仕組みをいっばい創っていききたいと思っています。

―プロジェクトを成功させるためには

市民の皆さんの活躍を期待したいです。自らが楽しみ、生きがいを感じながら、農村の暮らしは素敵だと自信を持って提案していただければと思います。

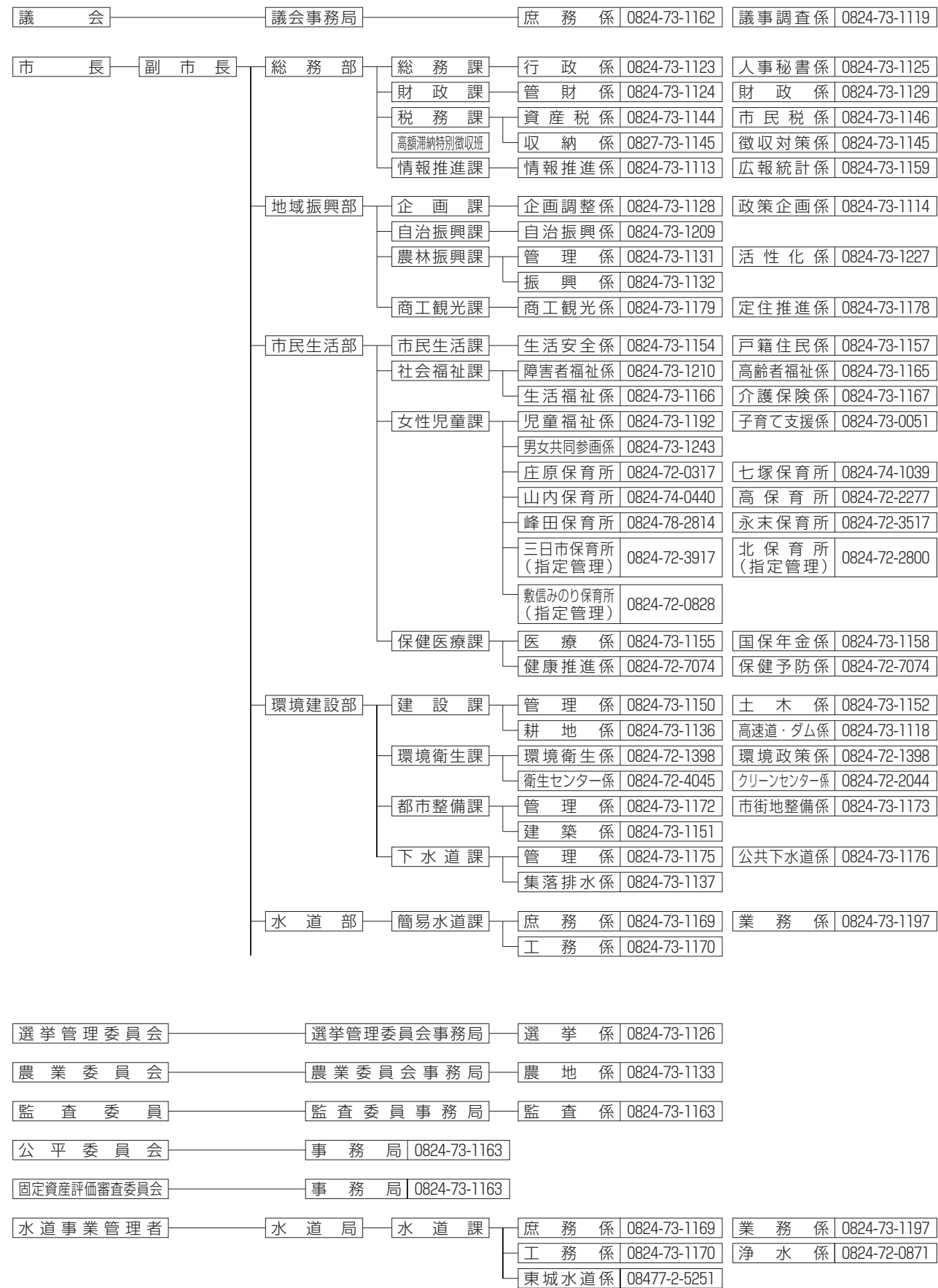
市民の皆さんと行政が協働して、同じ目線で、同じ目的に向かって一緒に取り組んでいきたいと思っています。「こういうことをやってみたい」「情報が欲しい」「いい補助金がないか」など何でも結構です。お気軽に声をかけていただければと思います。



庄原市の行政組織は、次のとおりです。(係名の横は電話番号)

※小中学校、共同調理場を除く

庄原市行政組織図 (平成19年4月1日現在)





ご利用ください! 庄原市出前トーク

市民の皆さんに市政に対する理解と信頼を深めていただき、市民参加による開かれた市政を目的に、市職員が各地域に向いて説明・懇談する「出前トーク」を実施しています。
市政について「よく分からない」「もう少し内容を知りたい」という皆さん、ぜひご利用ください。

対象は：市内に在住か通勤・通学するおおよそ10人以上が参加するグループや団体。
時間は：原則として平日の9時から21時まで。2時間以内です。
会場は：申込団体、グループで準備してください。

申し込み：開催を希望する2週間前までに申込書を情報推進課へ提出してください。
申込書、メニュー一覧は、情報推進課と各支所、各公民館などにあります。また、庄原市のホームページ(アドレス <http://www.city.shobara.hiroshima.jp>) からダウンロードできます。
その他：政治・宗教または営利を目的とした集会などは除かせていただきます。
問い合わせ：情報推進課広報統計係
☎ 0824-73-1159
FAX 0824-72-3322

お好きなメニューをお選び下さい!

番号	メニュー名 (内容)	子ども向けメニュー
52	情報公開制度について 情報公開制度の利用方法について	
53	職員給与の概要 庄原市職員の給与実態の概要を国と比較しながら説明	
54	庄原市財政のあらまし 予算の概要、決算の状況など	○
55	庄原市の広報紙づくり 市の広報紙づくりについて、子ども新聞づくり	○
55	計画行政の推進 ～みんなで作ろう庄原市の将来展望～ 長期総合計画・過疎地域自立促進計画・辺地総合整備計画策定について	
57	最少経費で最大効果を…市の行政改革 行政経営改革大綱・実施計画・定員管理計画について	
58	地域の声を行政に 地域審議会について	
59	国際友好都市交流 中国四川省綿陽市との交流	
60	産学官の連携 県立広島大学研究開発助成事業を中心として 新産業創出	
61	バイオマスエネルギー活用による新産業創出など	
62	公共サービス提供の新たな手法 庄原市総合サービス株式会社など	
63	公の施設管理について 指定管理者制度の活用について	
64	庄原市の住宅施策 市営住宅の整備計画、入居資格などについて	
観光・余暇		
65	庄原市の観光について 市内観光地の紹介	○
教育・文化・スポーツ		
66	体験「模擬授業」 学校で行っている授業体験	
67	キャリア教育について 特色ある学校づくりにむけて	
68	庄原市の文化財 文化財を活かしたまちづくりに向けて	○
69	遺跡からみた庄原市の歴史 発掘調査でわかった庄原の古代史を紹介	○
70	文化財の取り扱いについて 開発行為時の文化財協議と手順の説明	
71	市民ひとり1スポーツ 体育施設の紹介、社会体育行事について	
72	生涯学習とまちづくり 生涯学習の意義、必要性、学習情報	
73	人権教育の推進について 人権を尊重したまちづくりの推進について	
74	田園文化センターの利用について 図書館・歴史民俗資料館・倉田百三文学館の利用について	○

番号	メニュー名 (内容)	子ども向けメニュー
防災・安全		
36	災害に備えて 自然災害への備え、自主防災組織について	
37	覚えて安心救急講習 応急手当の知識	○
38	初期消火の必要性 いざという時の初期消火	○
39	正しい119番通報 119番通報の仕組みと正しい通報の仕方	○
40	農地、農林業施設の災害復旧について 田、畑、農業用水路、排水路、農林道、ため池、井堰などが豪雨等で被災した場合の復旧について	
41	農業用ため池の管理について ため池の機能保持と災害の未然防止に係る管理について	
福祉・健康		
42	障害者福祉サービスについて 障害者サービスの内容と利用方法などについて	
43	高齢者福祉サービスについて 高齢者サービスの内容と利用方法などについて	
44	介護保険制度について 介護保険制度の概要などについて	
45	次世代育成支援行動計画「スマイル子どもプラン」について 庄原市が行う子育て支援や、母子保健事業など子どもを育てやすい環境づくりについて	
46	ファミリー・サポート事業について ファミリー・サポート事業の仕組みや利用方法など	
47	子どもの笑顔を守ろう 虐待防止・虐待への対応(要保護児童対策地域協議会について)	
48	医療制度について(国保・福祉医療・老人保健) 乳幼児から高齢者までの医療制度の概要について	
49	国民年金制度について 制度の概要について	
50	心とからだの健康づくり 健康づくりや介護予防について	
51	生活習慣病予防のための食生活 高血圧、糖尿病、高脂血症、メタボリックシンドロームなど	

番号	メニュー名 (内容)	子ども向けメニュー
まちづくり		
18	自治振興区による地域づくり 自治振興区の現状と施策、自治振興センターについて	
19	ワークショップについて 各ワークショップの取り組みについて	
20	上野総合公園の整備について 多目的グラウンドを中心とした公園整備について	
21	庄原市内の主要な道路整備について 地域高規格道路「江府三次道路」、中国横断自動車道、農免農道、国道バイパスなどの主要な道路整備について	
22	道路の管理について 草刈り、舗装改良、補修などの道路管理制度について	
人づくり		
23	人権尊重のまちづくりをめざして 人権啓発の重要性、人権啓発事業の説明	
24	男女(ともに)輝く社会づくり 男女共同参画の取り組みについて	
25	「世界へ発信」庄原市の国際交流 市内国際交流団体の紹介	
26	パソコンで情報発信 庄原市のホームページについて、ホームページづくり	○
27	使ってみよう!イントラネット 地域イントラネットの仕組みと活用方法の紹介	○
産業		
28	土地利用型農業の推進について 米づくり・転作物・農地保全について	
29	農地の保全をつうじての地域づくり 中山間地域等直接支払制度を活用した地域づくり	
30	集落農場型農業生産法人について 集落農場型農業生産法人の設立による農業経営への取り組み	
31	農業に関する助成制度 庄原市が行っている農業支援の制度について	
32	有害鳥獣から地域を守ろう 有害鳥獣の防除・駆除対策について	
33	農地の貸借・売買・転用について 農地法などに基づく申請手続きについて	
34	中小企業融資について 貸付制度の概要、申込手続きについて	
35	中心市街地活性化事業について 事業の概要、申請手続きについて	

Delivery Talk Menu 庄原市出前トークメニュー一覧

※メニューにないものでも可能です。ご相談ください。

番号	メニュー名 (内容)	子ども向けメニュー
環境		
◆共に考えよう「ごみの減量化とリサイクル」		
1	分別収集、家電リサイクル、リサイクルプラザ、不法投棄防止、野焼防止など	○
2	行動に移そう省エネルギー対策 ちょっとした工夫でできる省エネルギー対策	
3	みんなポイ捨てを「しない」・「させない」 庄原市に 新庄原市ポイ捨て等防止条例の徹底、周知	
議会		
4	市民と議会 議会のしくみと役割について	○
生活一般		
5	固定資産税のしくみ 土地・家屋に対する課税と特例制度について	
6	住民税のはなし 市民税と県民税について	
7	「いらっしやいませ」市民生活課の窓口業務 戸籍、住民関係の諸届や発行、印鑑証明、パスポート申請など	
8	悪質商法の手口と対処法 消費者を守る法律の紹介、悪質商法への対処の方法、事例紹介など	
9	安全意識を高めよう防犯対策 防犯対策や防犯活動に対する助言など	○
10	生活交通の確保について 生活交通確保策の紹介	
11	浄化槽市町村整備推進事業について 事業内容について	
12	公共下水道事業について 事業内容、使用料、受益者負担金について	
13	農業集落排水事業について 事業内容、使用料について	
14	下水道排水設備について 正しい使い方、排水設備の設置方法について	
15	これからの上水道 上水道の利用と整備について	
16	安全な水づくり 浄水場施設の見学(水ができるまで)	○
17	給水装置はあなたの財産です 給水装置の維持管理について	

新庁舎建設に伴い本庁舎別館の各課 7月から仮庁舎で業務を行います

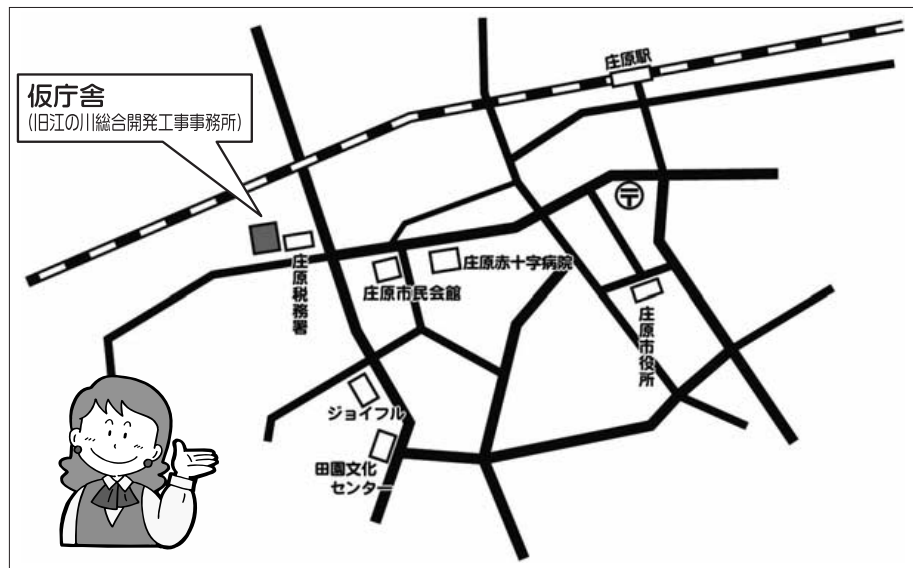
総務課行政係 ☎0824-73-1123

庁舎別館とその周辺が新庁舎の建築位置となります。本年10月の新庁舎建設の着工をめざして、7月からはこの庁舎別館の解体工事に着手するため、別館の各課は、本年7月から新庁舎が完成する予定の平成21年3月頃まで、庄原市三日市町667-1の「旧江の川総合開発工事事務所」の建物で業務を行います。

当分の間、ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

7月から仮庁舎で業務を行う課
自治振興課、社会福祉課、女性児童課
教育委員会各課（教育総務課、教育指導課、生涯学習課）

※自治振興課は現在、ふれあいセンターで業務を行っています。



■ 0歳以上3歳未満の児童の養育者に対する児童手当 (現行) (改正)

第1子、第2子 月額5千円 → 月額1万円(倍増)
第3子以降 月額1万円 → 月額1万円(現行どおり)

■ 3歳以上 (現行どおり)

第1子、第2子 月額5千円
第3子以降 月額1万円

施行日：平成19年4月1日
(改正後の最初の支給月 平成19年6月)

※今回の改正では、特段の手続きを行う必要はありません。
また、3歳到達による減額の手続きも必要ありません。
なお、平成19年4月から3歳未満の児童手当の額は一律月額1万円となりますが、3歳到達後の翌月からは、第1子と第2子の手当額は5千円となります。

問い合わせ 女性児童課児童福祉係(☎0824-73-1192)
または各支所保健福祉課・市民生活課

3歳未満児童、
一律月額1万円支給に！

急速な少子化の進行などを踏まえ、若い子育て世帯などの経済的負担の軽減を図る観点から、3歳未満の乳幼児の養育者に対する児童手当の額を、第1子と

第2子について倍増し、出生順位にかかわらず一律月1万円となりました。

なお、3歳以上の児童の児童手当の額、支給対象年齢や所得制限限度額については、現行どおりです。

4/1~ 児童手当制度が改正

子育て家庭の交流の場が広がります!

庄原市では、今年度4月から新たに、3カ所の子育て支援施設を開設しました。

子育てに関する相談、子育て家庭の出逢いと交流の場の提供、地域や多世代との交流、子育て情報の発信などを通して、地域の中で子どもを育て、子育て家庭を応援します。

地域活動の拠点としても幅広く活用していただけますので、お気軽にご利用ください。

板橋ひだまり広場

- 庄原市板橋町181-3 (旧板橋保育所)
- 開設時間 毎週月・水・金曜日(祝日を除く)
9時～16時



- ◆交流の場の提供 ◆地域交流
- ◆子育て相談 ◆イベントなどの開催
- ◆板橋小学校放課後児童クラブも実施します。
- ◆貸し館も行います。

実留ひだまり広場

- 庄原市実留町2395-5 (旧実留保育所)
- 開設時間 毎週火曜日(祝日を除く)
10時～15時



- ◆交流の場の提供 ◆地域交流
- ◆子育て相談 ◆貸し館も行います。

どの施設も、
開設日は
スタッフが
常駐しています!
安心して来て
下さいね



連絡先：女性児童課子育て支援係 ☎0824-73-0051
板橋子育て支援施設 ☎0824-72-6720
実留子育て支援施設 ☎090-6831-1731

美古登子育て支援施設 「キッズハウス」



- 庄原市西城町中野192 (旧美古登保育所)
- 開設時間 毎週月～金曜日(祝日を除く) 9時～15時
- ◆キッズルームひよこ 親子交流事業、世代間・地域間交流事業
集いの場の提供

- ◆子育て相談 ◆子育て情報の発信 ◆子育て講演会、講習会
- ◆ゆりかごルームカナリヤ
障害のある子どもたちがおもちゃを通して楽しく遊び、保護者の
皆さんも交流できます。

- ◆なかよしルームつくし 美古登小学校児童を対象の放課後児童クラブ

連絡先 西城子育て支援センター事務局 (西城保育所内)
☎0824-82-3003 キッズハウス (内線5810)

各地域の 交流の広場を ご利用ください

- 総領地域
総領子育て支援センター
(総領保育所内)
☎0824-88-2701

- 庄原地域
庄原地域子育て支援センター
「庄原ひだまり広場」☎0824-75-0222
「田川ひだまり広場」☎0824-72-3303
「水後ひだまり広場」☎0824-74-0224
「板橋ひだまり広場」「実留ひだまり広場」

- 口和地域
口和子育て支援センター
(口和保健センター内)
☎0824-89-7070

- 西城地域
西城子育て支援センター
(西城保育所内)
☎0824-82-3003
美古登子育て支援施設
「キッズハウス」

- 高野地域
高野子育て支援センター
(新市保育所内)
☎0824-86-2256

- 東城地域
東城子育て支援センター「こどもの館」
☎08477-2-0160
東城子育て支援センター「小奴可保育所」
☎08477-5-0031

- 比和地域
比和子育て支援センター
(比和保育所内)
☎0824-85-2608

毎年5月は消費者月間です

平成19年のテーマ

「みんなで築こう

身近な安全・安心」

身に覚えのない不審な請求、屋根・家屋・床下などの点検商法、強引な訪問販売など、私たちはさまざまに消費生活トラブルに囲まれており、暮らしの中に不安が広がっています。

消費者が安全で安心できる生活を送れるようにするためには、消費者の権利を暮らしの中で生かすとともに、自分で考え行動することが大切です。

今回は、携帯電話のメールによる架空請求の事例について紹介します。



個人情報が掲載された**携帯メール**による**架空請求の事例**

【相談事例】

携帯電話に、利用した覚えのないサイトの高額な登録料などの請求メールが送られてきた。「無料お試し期間を超過したため、退会手続きをしない場合は自動更新となり、年会費6万円を請求する」という内容で、全く身に覚えがない。メールには住所や連絡先など個人情報も掲載されている。

【対処方法】

身に覚えのない場合、連絡せずに無視してください。悪質な業者が、何らかの

手段により個人情報を取得し、その情報を元にメール受信者の不安を駆り立てて架空の請求をしているものと考えられます。利用していないのであれば、支払い義務はありません。

※同様の電話やメールがあれば、次の機関にご相談ください。

市民生活課生活安全係

☎0824-73-1154

庄原市消費生活相談コーナー

☎0824-73-1228

広島県生活センター

☎082-223-6111

消費生活相談

庄原市では、『消費生活相談コーナー』を設けています。



消費生活相談員
天道 茂代さん

●消費生活相談コーナーとは？

買い物や契約でトラブルが起きたり、おかしいな、困ったなと思ったりしたことはありませんか？

そういった消費生活に関する

苦情・相談について、専門の消費生活相談員が解決のお手伝いをします。

例えば、

- ・訪問販売などで不必要な物を買ってしまった。
- ・しつこい電話勧誘に悩まされている。
- ・注文していない品物が送られてきた。
- ・身に覚えのない請求をされた。
- ・簡単に収入が得られる仕事があると誘われた。
- ・多数の業者からお金を借りて、返済ができなくなった。

この他にも、消費生活に関する問い合わせ・苦情・相談について、お気軽にご相談ください。

ご相談の際には、相談内容のわかる書類（契約書・パンフレット・チラシ）や品物などをお持ちください。

相談日：毎週水曜日
(祝日、12月28日～1月3日を除く)
9時～12時 13時～16時
※水曜日以外は生活安全係の職員が対応します。

場所：市民生活課生活安全係内
問い合わせ：庄原市消費生活相談コーナー
☎0824-73-1228
市民生活課生活安全係
☎0824-73-1154

安心&安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824-72-0110

工事現場の「銅板・銅線」・半鐘が狙われています

～「あなたの会社の現場」は大丈夫ですか～

最近、金属製の物品または金属を主材料とする物品を対象とする盗難が全国各地で相次いで発生しており、社会的問題となっています。

広島県でも平成18年中の金属被害にかかる盗難事件は109件（被害総額約4千万円）であり、電線ケーブル、グレーチング、敷鉄板などの公共の用途に現に使用されている物品が、盗難に遭うなど悪質なものが多く、今後も続発するおそれがあります。

庄原警察署近辺の警察署（吉田警察署、福山東警察署管内）でも同様な被害が発生しています。

- 不審な車両（金属等を多量に搬送している車）・工事現場などに不自然に駐車している車を見かけた時
 - 金属等を多量に持ち込んだ者が不審な言動をした時は
- 110番、庄原警察署（☎0824-72-0110）**
に電話してください。

○被害を防止するために

・工事現場の資機材の管理を徹底しましょう

資機材が、放置されたままになっている現場での発生が多いようです。散乱している現場は、犯罪者のターゲットになりやすいので、工事が終了したら、資機材を撤収し、鍵の掛かる倉庫などに保管するなど、資機材の管理と現場の整理整頓に努めましょう。

・工事現場の防犯体制を強化しましょう

金属の保管方法の変更、センサーの設置、防犯灯の設置など、防犯グッズを活用しましょう。



障がい者相談支援員を設置

市では、障害のある方々が自立した日常生活や社会生活を送っていただけるよう、障害者やそのご家族などからの相談に応じるため、平成19年4月1日から障害者相談支援員を設置しました。

●相談業務

- ・各種福祉サービスの利用と援助に関すること
- ・障害者の進学や就職、居住などの相談支援に関すること
- ・障害者の権利擁護に関すること
- ・障害者福祉の向上に資する啓発と情報提供に関すること

障害者に関する相談ならどんな小さなことでも受け付けていますので、お気軽にお電話ください。

勤務日 毎週月曜日～金曜日（祝日を除く）
9時～16時

☎0824-73-1210（社会福祉課障害者福祉係内）
FAX0824-75-0245

22年間、県内の養護学校（現在の特別支援学校）に勤務し、障害児教育に携ってきました。よろしくお願ひします。



障害者相談支援員
正岡 清子さん

左記以外の時間帯や夜間・休日の相談は次の3カ所の施設で受け付けています。

施設名	所在地・電話番号
庄原さくら学園	庄原市三日市町甲17-6 ☎ 0824-72-0884 FAX0824-72-5018
ゆうき相談所	庄原市中本町1-5-2 ☎ 0824-72-7080
ともいきの里総領	庄原市総領町稲草7 7 ☎ 0824-88-3123 FAX0824-88-3120

各地で行われたイベント&話題を紹介するコーナーです。

福寿草を地域で守る 為重自治振興区がイベント

3月24日・25日の両日、東城町久代地区で「福寿草まつり」が開催され、福寿草の自生地への公開や地元特産品の販売などが行われました。

約1.5キロにわたって自生する福寿草の紹介と保護を目的に、地元の為重自治振興区が今年初めて企画。訪れた多くの人が、早春のやわらかな日差しを浴びて咲き誇る、黄色いかわいらしい花を写真に収めていました。

為重自治振興区の榎原良三会長は「この地区の福寿草は交配が進んでおらず花も大きい。これだけ群生しているのは全国的にも珍しいと聞く。絶やすことがないように守っていききたい」と話していました。



カメラを手に多くの人が訪れる

健康で元気に暮らすコツを学ぶ 口和で介護予防講演会



渡辺先生による講演会

介護予防事業として、1月から3月にかけて保健福祉キャラバンを口和町内各地区で開催し、3月14日・20日の地元医師による講演会に170人が参加しました。

国原医院の国原源一郎先生は「元気で長生き」と題して、また口和診療所の渡辺将史先生は「寝たきり予防のために」と題して講演し、「自分の体の状態をしっかりと知って、健康管理をしていくことが大切」などと呼びかけました。

身近な先生の説得力のある話を聞き、参加者は「メタボリックシンドロームから介護予防までしっかり学べた」「年をとっても元気に生活していきたい」と話していました。



国原先生による講演会

板橋・実留保育所が統合 敷信みのり保育所が開所式



4月3日、板橋保育所と実留保育所の統合保育所として整備した、敷信みのり保育所の開所式が行われました。

新しい保育所は、入所希望児童の受け入れ態勢の拡大、低年齢保育・延長保育などの要望に対応するため、平成17年度から事業を着手し、鉄筋コンクリート造り平屋建て、延床面積926.84㎡の園舎と、園庭、駐車場などを整備し、このたび完成しました。

開所式と入所を祝う会に出席した0歳から5歳児までの90人の園児は、多数の来賓、保護者の前で少し緊張していましたが、真新しい施設に期待を膨らませていました。

この保育所は、市内で4カ所目の公設民営化保育所として、株式会社敷信村農吉が運営管理します。



開所式で笑顔いっぱいの子どもたち

代々伝わるひな人形を展示 春爛漫東城まちなみ春まつり

4月14日から22日まで、旧暦のひな節句を祝う「春爛漫東城まちなみ春まつり」が開催されました。

今年で2回目を迎え、東城町中心部の商店街約500mにわたって55店が、代々伝わるひな人形を展示しました。中には普段は見ることのできない約250年前の「享保ひな」や三次人形、手作りの「つるしひな」なども飾られ、観光客は街中を散策しながら写真に収めていました。



14日には、徳了寺本堂で長崎在住のソプラノ歌手「高橋智子さん」と、地元のコーラスグループ「東城コールエコー」のコンサートが行われ、「春よ」「蝶々夫人」など14曲を披露しました。

訪れた人は「なぜこの時期にひな人形なのかと思っていたが、ちょうど見頃をむかえた桜と一緒に春を楽しむことができた」と喜んでいました。



ソプラノ歌手の高橋さん

庄原中学校で給食がスタート 庄原学校給食共同調理場が完成

庄原小学校、東小学校、庄原中学校の給食をまかなう庄原学校給食共同調理場が西本町に完成し、4月から約1200食の調理が始まりました。

この調理場は、庄原小学校と東小学校の調理場の老朽化問題と、保護者から「庄原中学校でも給食を実施してほしい」という強い要望に応えるため、新たに建設しました。

4月12日、初めて庄原中学校で給食が行われ、給食当番は戸惑いながらも手際よく配膳し、順調にスタートしました。久しぶりの給食に少し興奮ぎみの生徒たちは「小学校の給食を思い出し、懐かしい」と言いながら笑顔で食べていました。

来年度は、西城中学校でも給食が始まる予定で、市内の全ての小・中学校で給食を実施します。



共同調理場



久しぶりの給食を楽しむ庄原中の生徒

高齢者の元気を育み10年

三坂老人会が記念行事



三坂老人会の役員

3月28日、西城の三坂老人会が元気づくりの活動を始めてから10年目を迎え、健康講座やゲーム、温泉入浴で10周年を祝いました。

この10年間、定木達雄会長を中心に毎月の定例会のほか、農閑期の毎週水曜日には、地域の高齢者の元気づくりや親睦を目的とした集会を開いてきました。また、冬場の活動として、地域の伝統を生かそうと平成11年からしめ縄作りに励み、地元の商店で販売し、これまでに3180個を販売。売上金を会の運営や地域の伝統行事などにあて、自立した活動を続けてきました。

定木会長は、「みんなに好かれる年寄りになるという事を約束に、これからも認知症予防や情報交換を続けていきたい」と話していました。

男性の元気づくり講座

しあわせ館で「輝☆OYAJI」

西城支所保健福祉課が3月23日、西城保健福祉総合センターしあわせ館で、「輝☆OYAJI（ひかるおやじ）」の集いを開催しました。

これは、団塊世代を中心とした50代、60代の男性対象の元気づくり事業で、職場での自分、家庭での自分を脱ぎ捨てて、本来の自分を開花させるきっかけとなるよう企画しました。



コーヒーを飲みながら、リラックスした雰囲気でお話し

コーディネーターとして、旧西城町の保健福祉総合計画の策定に関わった(有)人間科学研究所の志賀誠治所長を招き、「自分を見つめる、自分を知らぬこと」をテーマに始めました。

フリップ方式ディスカッションを取り入れ、「こう見えても実は私○○なんです」、「20代、30代の自分を一言で表すと?」、「40代、50代の自分を一言で表すと?」、「これからの自分のキーワードは?」など、全員がフリップに記すことで議論を進めていきました。

初めての試みで、参加者は5人と少なかったのですが、話題は地域づくり、まちづくりにまで発展し、予定時間を30分以上超過するほど盛り上がった有意義な集いになりました。参加者の一人は、「今まで着ていた鎧を脱いで自分を再発見した気がする」と話していました。

「輝☆OYAJI」の申し込み・問い合わせは西城支所保健福祉課（☎0824-82-2202）まで。

まるで黄色い絨毯!

総領で2haの菜の花が満開



4月、総領町五領地区で菜の花が満開となり、地域住民とドライバーは黄色い絨毯を敷いたような光景を楽しみました。

平成15年度から五領自治振興区が「イエロープロジェクト」と名づけて、農地の荒廃を防ぎ、景観をよくしようと、地域内の約2ヘクタールの遊休農地などに、地域の交流も兼ねて菜の花を栽培しています。

4月上旬から約1カ月間、美しい景観を楽しんだ後、6月には菜種の収穫を行い、搾油して一番搾りの菜種油「菜種の雫」を作り、販売しています。また、総領地域のイベントでは手作りコロツケを「菜種の雫」で揚げて販売し、毎回好評を得ています。

今後は菜種油としての販売だけでなく、菜種油を利用した新商品の開発も予定しています。

高暮自治振興区が橋の渡り初め

松原橋・古川橋開通式



橋の渡り初め

3月18日、高野町高暮で、一般県道下門田泉吉田線松原橋・古川橋の開通式（高暮自治振興区主催）が開催されました。

高暮地区で橋の渡り初め行事が行われるのは、高暮ダム completion による藤淵橋以来、実に57年ぶり。

式では、田中五郎区長が「かつては、交通の難所として、洪水の度に橋が流されたり、人身事故が相次いだりしたが、本日の開通式を迎える事ができ地域の夢がかなった。橋ができて本当にうれしい」と主催者を代表してあいさつしました。

松原橋で関係者によるテープカットの後、天狗姿の露払いに続き、地元を代表して牧原茂朗さん一家3世代夫妻を先頭に、参列者が順次松原橋、古川橋の渡り初めを行いました。

その後、関係者による記念植樹も行われるなど、地域の記念すべき「はれの日」となりました。

中国山地豊かな写真展

里山のさまざまな表情を写す

4月1日から25日まで、比和文化会館展示室で第18回中国山地豊かな自然写真コンテスト入賞作品の写真展が開催されました。

この写真コンテストに、120人から264点の応募があり、入賞した48点を展示。どの作品も中国山地のさまざまな表情を写し出し、自然の美しさ、やさしさ、厳しさを表現していました。

来場者は、「昔は身近にあった自然がなくなってきている。すぐにでも写真を撮りに行き、残しておきたい気持ちになった」と話していました。

この写真展は、次の日程で巡回展を予定しています。

- 4/27～5/22 ひろしま県民の森公園センター
- 6/19～7/20 広島みどり信用金庫本店ロビー
- 8/1～8/31 食彩館しょうばら ゆめさくら
- 10/6～10/31 国営備北丘陵公園



作品を通して中国山地の良さに触れる来場者

地域資源を再発見し、魅力を発信

岡大内自治振興区がマップ作製



マップの完成を喜ぶ役員

高野の岡大内自治振興区が地域の魅力を伝えるカントリーウォークマップを作製しました。

カントリーウォークは、農村をのんびり歩いて、農村の自然や農業の営み、歴史・文化など、農村そのものを楽しもうとするもので、近年国内外で静かに広がりを見せています。

地域住民は、デジカメや地図を片手に地域内を歩いたり、ワークショップを開いたりして、地域資源を再発見しながら地域の魅力をまとめました。マップには岡大内地域の史跡や山野草、おすすめの景観ポイントなどを紹介。庄原市活動促進補助金の交付を受け500部印刷しました。

糸原秋信区長は「マップづくりを通して再発見した地域の良さを継承していきたい。また、都市住民との交流にも活用し、地域の魅力を広く発信していきたい」と話していました。

クローズ CLOSE UP アップ 話題の人に迫る

兄の勧めで小学校6年生からスノーボードを始めた原田くん。口和中学校2年生からレースに出場し、3年生には県代表として全国大会にも出場した。

口和中学校を卒業後、「スノーボードができる環境を」と、北海道の登別大谷高校に進学した。同校は、ワールドカップで優勝し、トリノオリンピックにも出場した国母和宏選手を輩出するなど、スノーボードの強豪校。顧問の宮竹和宏論はスノーボードの日本代表コーチを務め、全国各地からトップレベルの選手が集まってくる。

全国大会に出場し、特待生として入学した原田くんも、周りのレベルの高さに驚いた。

同校では、11月からスキー場での本格的な練習が始まる。練習は毎日、朝9時から夕方4時まで行われ、3月まで合宿と大会を繰り返し、日々。周りの選手に刺激を受けながら急成長し、徐々に結果が残せるようになった昨年3月、全日本ジュニ

アスキー選手権大会で6位入賞を果たした。積極的に安定した滑りがスキー連盟の目に留まり、今シーズンの国内強化育成選手入りした。現在は、ポール（旗門）を通過し順位を競うアルペンのほか、4〜6人が同時に滑り順位を競うボイダークロス、ジャンプやレール滑走などで技の表現力などを競うスロープスタイルにも挑戦している。今シーズンはスロープスタイルで、全日本スノーボード選手権3位入賞、ボイダークロスでもオーストリアで開催されたスノーボードジュニア世界選手権に日本代表として出場するなど、好成績を残している。

スタート前、原田くんは滑りだけだけでなく、表彰台上がっている自分までを強くイメージすると言う。原田くんのここ一番の勝負強さは、イメージトレーニングなどメンタル面の強さから引き出される。また、国内強化合宿では、ストレッ

日本のトップレベルの選手から多くのことを学び、日々生活の中で意識している。さらなるレベルアップを図るため、5月からはカナダで合宿を行い、7月までスノーボードに没頭する。

「目標は2009年にカナダで開催されるバンクーバーオリンピック出場。代表に選ばれるよう一戦一戦大事に戦い、海外でも上を目指したい」と意欲を見せる。



めざせ スノーボード日本代表 五輪出場の登竜門へ

口和出身の原田大禎くんが、スノーボード・アルペンの五輪代表候補を育てる国内強化育成選手に選ばれた。この国内強化育成選手は全国から25人が選ばれ、合宿や各種大会に出場しながら、4つの代表枠を狙う。

ともよし
原田大禎くん
(口和町出身・登別大谷高校3年)

バランスのとれた食生活していただけますか？

保健医療課保健予防係 ☎0824-7217074

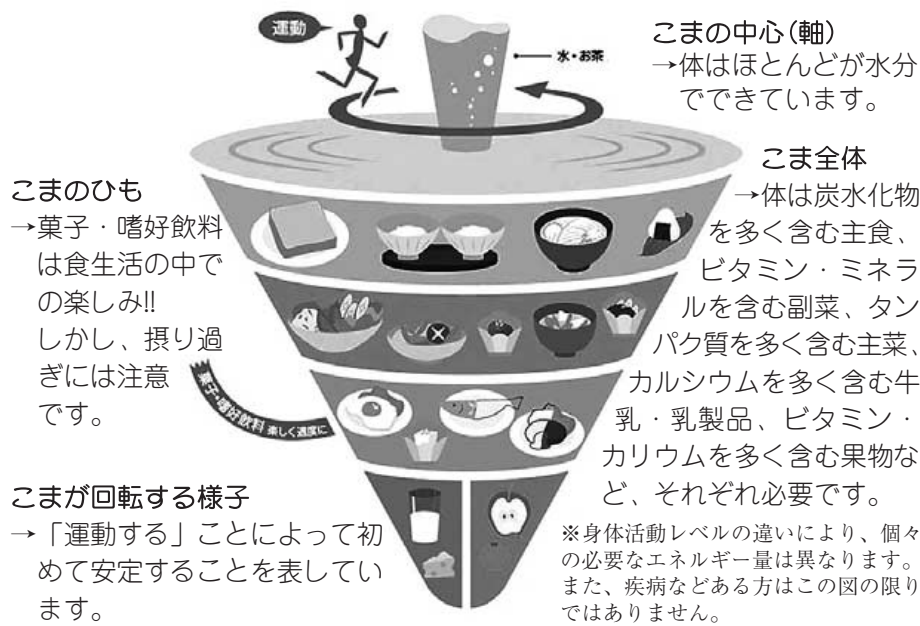
「好きなものばかり食べる」「夜遅くに食事をする」など、食生活の乱れや偏りなどが言われていますが、あなたの食生活はいかがでしょうか？

平成18年度の庄原市生活習慣病に関する調査によると、食事について気をつけている人のうち、1日3食食べている人は74・0%と多いのに反し、バランスよく食べている人は4・0%と少ない結果がでています。健康な体を維持していくには、バランスのよい食事・規則正しい生活習慣が大切です。しかし、「バランスのよい食事」といっても、どのような食事のことでしょうか？

そこで、この「バランス」をわかりやすく示すため、1日に「何を」「どれだけ」食べたらいいかをイラストで示した「食事バランスガ

イド』を参考に、食生活を
見直してみませんか？

この図は『こま』をイメージして作られています。バランスがとれているからこまは回ります。バランスのとれた食事・適度な運動は、健康な体づくりにとても大切です。



- ポイント
- ① エネルギーになるもの
 - ② からだをつくるもの
 - ③ からだの調子を整えるもの

「たくさんより、まんべんなく」を合言葉
献立を考える上で大事な

<卵豆腐あんかけ>

これからの時期食べる機会の増える卵豆腐をちょっとアレンジ!! (2人分)

材 料	作 り 方
卵豆腐 2個	①人参・絹さやはせん切りにする。
かに缶 60g	
人参 40g	②だし汁に、かに缶・人参・絹さやを加えて煮て、④の調味料で味を調え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
絹さや 40g	
だし汁 200cc	③卵豆腐を器に盛り、②をかける。
みりん 小さじ2	
④ 醤油 小さじ1	
塩 少々	
水溶き片栗粉 少々	



の3つの要素を毎食とり入れることです。

〈野菜をとりにくい人は〉

- ★外食するときは単品よりも定食を頼むと効果的
- ★ラーメンなど麺類を食べる時は、野菜を炒めてトッピング
- ★お汁は具たくさんにする

〈タンパク質(肉や魚など)をとりにくい人は〉

- ★野菜の和え物・炒め物などに、ちりめんやささみ肉などを一緒にいれる



★牛乳などの乳製品は料理に使う

お知らせ

生活相談



身体障害者

定期相談(判定)会

「肢体」 5月17日(木)
受付13時～14時
ところ

備北地域事務所第3庁舎
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係
☎0824-73-1210

へ予約してください。

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。

●庄原地域

とき 5月8日(火)
・22日(火)・6月1日(金)
13時30分～16時30分
ところ

庄原市ふれあいセンター

●東城地域

とき 5月10日(木)
6月1日(金)
13時30分～16時30分
ところ

東城町老人福祉センター

●西城地域

とき 5月10日(木)

6月1日(金)
13時30分～16時30分
ところ 西城公民館

●高野地域

とき 6月1日(金)
13時～16時

ところ 高野支所

●比和地域

とき 5月17日(木)
6月1日(金)

13時30分～16時30分

ところ 比和文化会館

●総領地域

とき 5月10日(木)
6月1日(金)

9時～11時

ところ

総領健康福祉センター

問い合わせ

庄原人権擁護委員協議会
☎0824-72-0311

心の健康相談

ストレス、思春期の悩み、
うつ病・認知症などの心の
健康に不安のある方やその
家族からの相談に応じます。

とき 5月15日(火)

受付13時30分～14時30分

ところ 備北地域保健所

※事前にご予約ください。

ひきこもり相談

ひきこもり状態にある方
やそのご家族からの相談に
専門医や保健師が相談に応
じます。秘密は厳守されま
すので、安心してご相談く
ださい。

とき 5月28日(月)

13時30分～14時30分

ところ 備北地域保健所

※事前にご予約ください。

問い合わせ

備北地域保健所保健課保健
対策係
☎0824-63-5181

定期巡回児童相談

備北こども家庭センター
が子育てに関する相談に応
じます。

とき 5月17日(木)

10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター

※一週間前までに予約して
ください。

女性児童課子育て支援係

☎0824-73-0051

催し



布見作業田植え

牛の代掻きの後、太鼓に
合わせて早乙女が田植えを
行う昔のままの賑やかな作
業田植えです。一般の方も
参加できます。

とき 5月20日(日)

9時30分～12時 小雨決行

ところ 比和町布見地区

問い合わせ

比和支所地域振興課
☎0824-85-3000

比婆山山開き

古事記の里の夏を告げる
「比婆山・山開き」です。

「神事」のあと、「福も
ちまき」や「比婆牛バーベ
キュー」など楽しい催しが
あります。

とき 5月27日(日)11時～

ところ 竜王山山頂(西城)

内容 奉納神楽、西城川太
鼓、田植え踊り、バザー

*無料送迎バスが、9時に

備北商工会館前(旧西城町
商工会)を出発します。

問い合わせ

西城町観光協会

☎0824-82-2727

2007

健康福祉まつり

今年も「げんき」と「や
すらぎ」のまち・しょうば
ら」をテーマに、健康福祉
まつりを開催します。一緒
に健康と福祉について感じ
てみませんか。

とき 5月27日(日)

9時～14時30分

ところ 庄原市総合体育館、
庄原市保健センターほか

問い合わせ 保健医療課

☎0824-73-1158

吾妻山山開き

草花の宝庫「吾妻山」の
山開きでは、初夏の吾妻山
を彩る県民謡「ばい流し」
や神楽、餅まきなどのイベ
ントをはじめ、比婆牛もも
の丸焼き、各種バザーなど
のコーナーもあります。高
原のさわやかな風を感じに
お越しください。

とき 6月3日(日)10時～

ところ 吾妻山

問い合わせ

比和支所地域振興課

☎0824-85-3000

庄原市成人式

今年度の成人式を次の日程で開催します。
詳しい内容は6月以降の広報などでお知らせします。
とき 8月15日(水)10時〜

募集

現代農業体験

これが田舎の農業だ! 高野町で農業機械を使って『現代の農業』を体験できる一泊二日の体験イベント。ご家族揃ってお越しください。
とき 5月19日(土)〜20日(日) 12時30分〜

その他

平成19年度のリサイクル講座

ステンドグラス講座などを開催します!
庄原市リサイクルプラザでは、好評のステンドグラス講座のほか、フラワーボトルやクリスマスキャンデルの講座などを開催します。
◆定員になり次第、締め切らせていただきます
◇費用は、使用される材料などに応じて多少変わるこ

リサイクル講座

Table with 2 columns: 開催日, 講座内容. Rows include dates from 5月13日 to 2月10日 and topics like ステンドグラス, フラワーボトル, クリスマスキャンドル.

時間 10時〜15時
定員 10人程度

山菜交流会 in 比和

山菜の話の聞きながらの山歩きや山菜の調理・試食会など、山菜づくしの交流会です。
とき 5月20日(日) 9時〜14時 小雨決行

山野草の寄せ植え講座

苔玉や流木を器に山野草の寄せ植えを作る講座です。

水道週間

毎年6月1日から7日まで、全国水道週間です。今年「水道が、うるおす日々の「健やかさ」をスローガンに、さまざまな広報活動などの運動を通して、市民の皆さんに水道に対する理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。

初夏の庄原文学散歩

初夏の風に吹かれ、本町界わいを散策しましょう。
とき 5月26日(土) 10時30分〜12時

そば打ち体験

比和で生産されたそばを使ったそば打ちを体験できます。そばの製粉所の見学

国民健康保険税の賦課限度額(医療分)が変わります

生活を送るために、欠かすことのできない水道。この機会に、「水道」の大切さを再認識してみましよう。
改正後 56万円
現行 53万円



保健医療課 国保年金係
0824-73-1158

薬草探検隊(初夏コース)

七塚原に自生する薬草を探索し、薬草の効能や利用の仕方を学習します。
とき 6月2日(土)・3日(日) 1泊2日

県民の森自然観察

県民の森のホテルに宿泊

産直市会員募集

市と(株)庄原市農林振興公社では農業所得のアップをめざし「ヒバゴン生鮮便江波店」による産直市販売事業を行っています。今回、販売事業の拡大にむけた農産物を出荷される会員を募集します。

ご利用ください! 庄原市中小企業融資制度

1 庄原市中小企業融資制度
市内の中小企業者の金融難を緩和し、その育成振興を図ることを目的として、中小企業融資制度を設けています。

Table with 7 columns: 資金使途, 融資条件, 融資限度額, 融資期間, 融資利率, 信用保証料率, 申し込み先. Rows include 運転資金 and 設備資金.

※()は信用保証なしの場合 ※合併前の条例により貸付を実行した融資は、合併前の制度を引き継いでいます。

2 庄原市中小企業融資資金信用保証料補助金

「庄原市中小企業融資制度」を、ご利用の方の広島県信用保証協会信用保証料について、110分の60に相当する額を補助します。

申し込みは、金融機関に備え付けの申請書に必要事項を記入し、商工観光課商工観光係 (0824-73-1179) または各支所地域振興課へお願いします。

犬・猫の引き取り 5月・6月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

Table with columns: 日程, 場所および時間. Rows include 庄原地域, 西城地域, 東城地域, 口和地域, 高野地域, 比和地域, 総領地域.

西城・東城地域の5月は、第1木曜日が祝日のため定期収集がありません。

献血のご案内 献血をつぎのとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。 Table with columns: 実施日, 会場, 受付時間.

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX 市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。 6月の展示案内

広報日記 今年のは桜の開花時期に天候がよく、青空の下で桜を楽しむことができた。桜の名所はもちろんだが、道端などで偶然見つけた桜の美しさに感激し、桜を植えた先人に感謝の気持ちになりました。

休日診療のご案内 5月・6月の休日診療については、次のとおりです。 庄原地域, 東城地域. Table with columns: 月日, 診療所名, 電話番号.

しょうばら九日市 毎月9日は、くunchいち 5月 母の日のプレゼントは九日市の手仕事市で！

市税 水道料金 下水道使用料 納付は口座振替が便利です。手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

人の動き (3月末日現在) [住民基本台帳登録人口] 〇人口 42,807人(前年比-712人)

7万本のシャレポピーと2千株のアジサイ ポピーまつり! 5/19日(土)~6/10日(日)

備北丘陵公園 だより 備北公園管理センター ☎0824-72-7000

シャレポピー満開! 3月下旬に菜の花ではじまった春の花のシンフォニー、5月中旬からは一面にシャレポピーの赤い花が咲き広がり、今年の花は昨年より4万本から7万本に規模も拡大し、見ごたえも十分です。

「ひばの里」でも昔ながらの山風景を再現した「ひばの里」エリアの花が美しいアヤメや紫の花が咲き、この美しい風景を演出しています。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411 【5月のイベント情報】 ●陶芸講座

「ふれあい市長室」の日程 とき 5月12日(土)9時~12時 6月9日(土)9時~12時

時悠館 春の企画展 期間 4月28日(土)~6月24日(日) ●企画展開催記念講演

「広報しょうばら」に広告を募集します 市内の全世帯(約16,000世帯)に配布する広報紙「広報しょうばら」(毎月5日発行)に広告を掲載していただける法人、団体、個人事業者などを募集します。





日野滝／濁川町

高さ24mを2段の滝となって落下しています。上段は16m、その下に約3mのナメラを経て5m流れ落ちます。

伝説によると、滝つぼには底から深い穴が開いており、門田町にある姫呑淵（ひのめのふち）に通じているとされています。戦に破れ追われていた姫がこの日野滝まで逃れ、かねてから知っていた滝つぼの底にある穴に入り、姫呑淵に出て難を逃れたと伝えられています。



おんだき
雄滝／高野町南

大鬼谷にある滝で、高さは30mにも達し、古来ここに龍が棲息したと伝えられています。

めんだき
雌滝／高野町南

雄滝の下流にあり、夏は涼しく、秋はきれいな紅葉で、訪れる人々を楽しませてくれます。



ちょうのおのたき
鳥尾の滝／比婆山(西城町)

伯耆の鳥上山（島根県の船通山）に対して比婆山を鳥尾の峰といい、鳥尾の峰に対してこの滝を鳥尾の滝と呼びます。30m余りの高さから落下する様子から尾長鳥の尾を連想することもできます。別名「那智の滝」ともいられています。



ちょうすかたき
手洗滝／口和町宮内

滝の高さは30mにおよび、瀑水は3段に分かれています。伝説によると後鳥羽上皇が隠岐の国へ御還幸のとき庄原市本郷町より高野町岡大内に至る途中、口和町宮内でしばらく休息され、この滝で手を洗われたといわれています。



市内には、雄大な滝やさまざまな伝説が残る滝があります。今月は庄原市の「滝」を紹介します。



「一ノ滝」
「二ノ滝」
「三ノ滝」／比和町福田

福田頭の登山道沿いにあります。一ノ滝（31m）は2段の滝で雄大な滝です。二ノ滝（28m）は滑らかな、優美な滝です。三ノ滝（32.5m）は上に三ノ一の滝（5m）・三ノ二の滝（5m）があります。